

第三者評価結果の概要をお知らせ致します。詳細につきましては、園で保管している「評価結果報告書」または、「とうきょう福祉ナビゲーション」ホームページ上でご覧いただけます。

評価機関名：株式会社IMSジャパン（機構05-144）

《事業所名：i-保育園》

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	リーダー層職員はリーダーシップを発揮して職員育成の風土を醸成し、乳児期から幼児期を見通したつながりのある保育の実践に努めています
	内容	子どもの個人差に対する配慮や保護者などに、より丁寧に対応するため、主任は全クラスの状況に心を配り、必要に応じて職員の相談に乗ったり、対応の場に同席したりしてリードしています。乳児・幼児リーダーもそれぞれのフロアの状況を把握して協力体制を取り、園長を中心に風通しの良い職員関係を構築しています。各領域のマニュアルを作成して直ぐに活用できるよう整備し、保育の過程が0～5歳児までつながる保育を目指して、職員育成に注力しています。職員調査において、職員間の関係の良さや相談しやすい環境に対する意見が多数あがっています。
2	タイトル	小学校教育へ円滑に接続できるよう近隣幼稚園・保育園・小学校と連携を図り、情報交換に努めて就学を見据えた取り組みに注力しています
	内容	小学校教育への円滑な接続に向けて区主催のブロック研修会に園長及び5歳児担任が出席し、近隣の幼稚園・保育園・小学校の職員と意見交換や情報交換をおこなっています。また、交換研修の実施により教員が来園して5歳児の活動に触れる機会や、5歳児担任が小学校に赴いて授業や給食などの様子を見学する機会も積極的に確保しています。小学校1年生の様子をビデオに撮り、5歳児に見せて、小学校に対するイメージをもって、園での生活にも意欲的に取り組めるよう工夫しています。保護者にも見せる機会を作り共に就学を見据えたいと考えています。
3	タイトル	法人内で開催される事例発表では毎年度高い評価を得ており、毎年チームで取り組むことで職員間のチームワークも年々向上しています
	内容	法人内で年に一度開催される、日々の保育の中で自慢できるものを発表する会（アワードバンケット）に毎年参加しています。これまでも園と良好な関係を築いている地域の産廃業者との関係や子どものやる気が高まる保育、日々の保育で役立つものを製品化した事例などを発表しています。当園の事例は法人からも高い評価を得ており、毎年最高ランクの賞を受賞しています。年間を通して取り組んだことが法人からも高い評価を得られ、職員のモチベーションも高まっています。毎年チームで取り組むことで、職員間のチームワークの向上にもつながっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	働きやすい職場環境が整備できていることなどが多くの方に伝わるような工夫なども取り入れ、正規職員の採用が高まることを期待します
	内容	人材の確保に向け、園のホームページ内で先輩職員のメッセージを発信して職場のイメージを発信したり、就職活動セミナーへの参加や学校訪問などを通して採用につなげています。現状、中途の採用が多いこともあり、正規職員や新卒者の採用を今後の課題としています。正規職員採用に向けて園としても前向きに取り組んでいますが、例えば、働きやすい職場環境が整備できていることなどが多くの方に伝わるように、都の働きやすい福祉の職場宣言の活用なども一つの方法と考えます。各種の取り組みを通して正規職員の採用が高まることを期待します。
2	タイトル	子どもたちが過ごしやすい生活の場として、施設内の整理・整頓をさらに進め、保育環境を整えていくことが期待されます
	内容	園舎は築42年で、区立の保育園だった施設をそのまま引き継ぎ、改修しながら大切に使用しています。一方で、収納場所などについての設備面には課題があります。教材や遊具を収納する倉庫などの収納設備が少ない状況のため、使用していない教材や遊具は保育室の空きスペースや廊下、玄関などに置いています。安全性のさらなる確保の観点から、施設内の整理・整頓を進め、子どもたちが過ごす生活の場として保育環境を整えていくことが期待されます。
3	タイトル	事業計画は、重点課題のほかに一年間で取り組む事業内容についても項目を立てて策定していくとよいでしょう
	内容	事業計画には園が抱えている重点課題とその対策を簡潔に示してあります。重点課題と対策を明確化している点は評価できますが、園がこの一年間、どのような事業を展開するのかを示す必要もあると思われます。理念・方針に基づく保育内容や園行事、職員体制や職員育成、子育て支援活動、地域交流、避難訓練、給食、健康など、この一年間の取り組む事業内容を項目を立てて策定してみたいかがでしょうか。また、事業報告書は事業計画書の実施結果の振り返りとして作成することで、どの活動に改善が必要か、より明確になってくると思われます。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが自発的・主体的に良質な体験を重ねることができるよう保育実践に努めています	
内容①	豊かな個性を育成し集団の中で興味と自発的な意欲により集中力を高めた経験を通して円満な人間関係を築くことを基本方針に掲げて実践に努めています。日常的に子どものつぶやきや発想に寄り添いながら環境を整え、遊びこめるよう工夫しています。元気タイム（体操）やネイティブイングリッシュシャワーに取り組む姿勢は活発的です。表現・戸外活動においても充実した内容を実践しています。また、見通しをもって取り組めることができるよう言葉かけに配慮し、時間・活動内容の掲示をおこなっています。活動に対する保護者満足度は高数値となっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-1-4	職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる
タイトル②	保育業務支援システムの導入により、職員の業務負担軽減と保護者の利便性を図りました	
内容②	職員の業務負担の軽減を図り、職員に長く働き続けてもらいたいと考え、昨年度から保育業務支援システムを導入しました。これまで保護者との連絡は、連絡帳や電話で行っていましたが、パソコンやスマートフォンのアプリケーションで効率的に情報交換ができるようになりました。今回の職員調査では、アプリの利用により保護者への電話対応が減ったことを良かった点にあげる意見がありました。利用者調査では、便利になって良かった、動画や写真を配信してもらえるので活動内容が分かりやすいといった意見が出ています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	3-3-2	地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている
タイトル③	地域とともに育っていくことを大切な考えとして、良好な関係作り日々尽力しています	
内容③	「地域とともに育っていく」ことを開園当初から園の大切な考えとしています。コロナ禍以前は近隣小学校の「開かれた学校づくり協議会」への参画や区の要保護児童対策協議会にも参加して各種の困難事例に対して園としての見解を発信してきました。地域の産廃業者とも良好な関係を築き、子どもたちの体験などに協力を得られています。また、コロナ禍の中でもできる限り園の機能を還元するために、地域で子育てをしている方々に向けての会（ほほほの会）も10月から再開しています。地域とともにを大切に、良好な関係作り日々尽力しています。	

調査対象	<p>【子どもの数】98名 【世帯数】80世帯 ・全世帯を対象に保護者アンケート調査を実施しました。 ・複数の園児が通っている場合には、重複しないように注意を払いました。</p>
調査方法	<p>・園の協力のもと保護者にアンケート用紙を配布し、回答は評価機関に直接返送してもらいました。 ・調査結果は、選択式設問への回答・自由記述ともにすべて園に報告しました。自由記述は、匿名性に配慮した上で一部を報告書に掲載しました。</p>
利用者総数	98
利用者家族総数(世帯)	80
共通評価項目による調査対象者数	80
共通評価項目による調査の有効回答者数	50
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	62.5

利用者調査全体のコメント

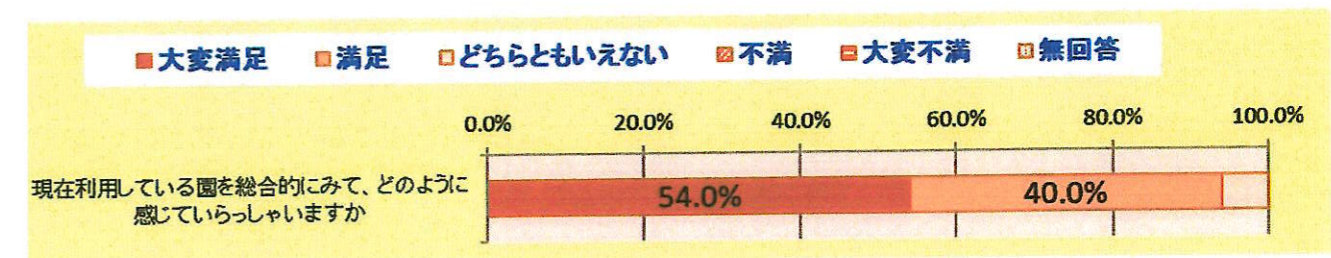
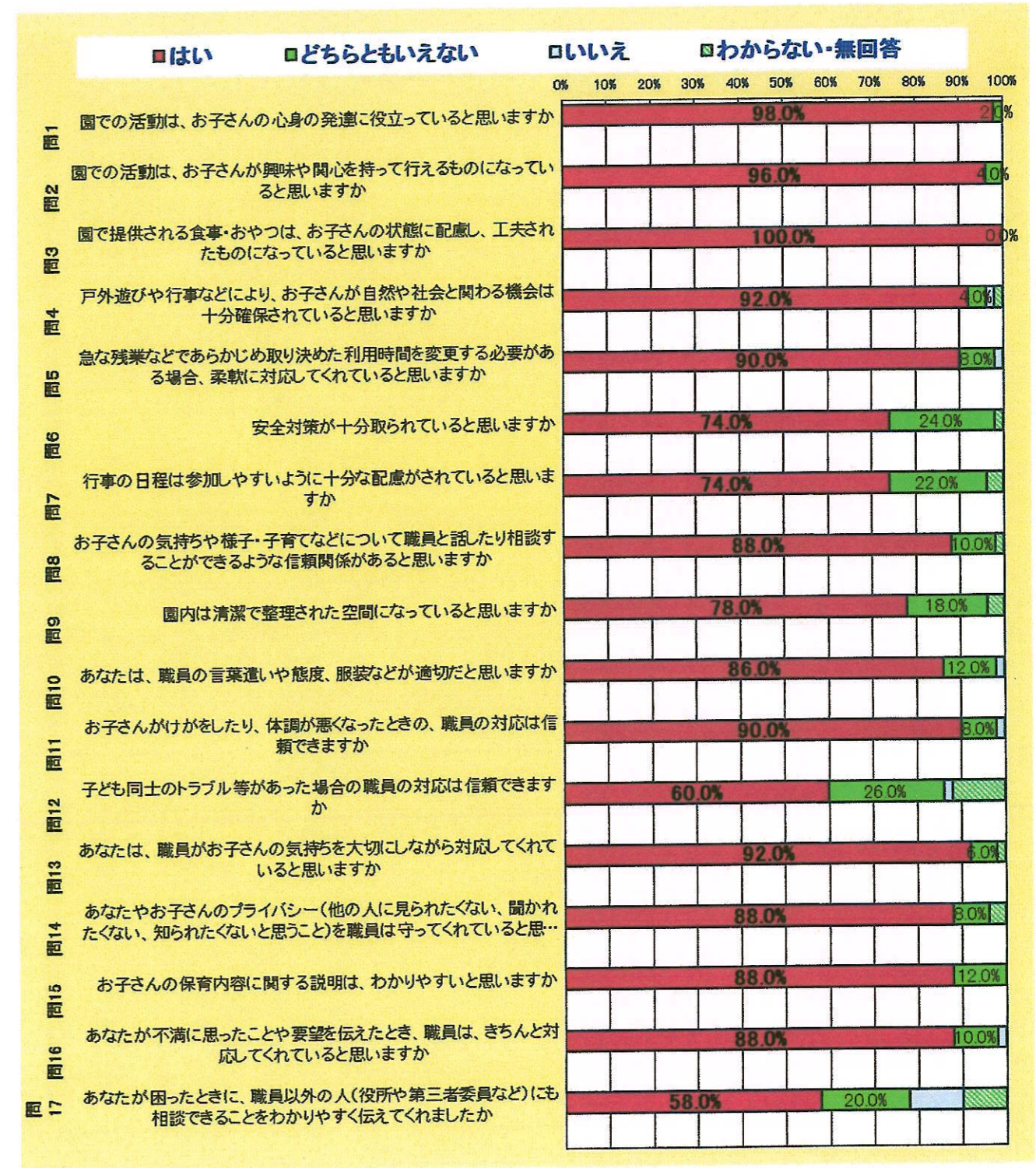
【総合的な感想】「大変満足・満足」を合計した満足度は94%です。「大変満足」が54%、「満足」が40%、「どちらともいえない」が6%、「不満」、「大変不満」の回答はありませんでした。
 【各設問】「はい」の回答割合が最も高かったのは、問3「提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか(100%)」で、次いで問1「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか(98%)」となりました。一方、「はい」の回答割合が最も低かったのは、問17「外部の苦情窓口にも相談できることを伝えられているか(58%)」でした。
 【前回との比較】前回と比べて4項目で「はい」の回答割合が上昇しました。
 【自由意見】先生の対応に関して好意的な意見が多数出ていました。また、園庭や公園などの外遊びが充実していること、食事が充実していること、保育の様子を写真や動画で見られること、先生方に気軽に相談できることなどについても良好な意見が出ています。また、植栽の整備や、よりスムーズな送迎をお願いしたいといった要望も出ています。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	49	1	0	0
【回答割合】「はい」が98%、「どちらともいえない」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が2ポイント下降しています。 【自由意見】運動面でも助かっている、ダンスや遊びやご飯などできることがどんどん増えている、言葉や生活習慣は友達と真似をするなどで自分から学んでいるようでとても役立っているといった意見が出ています。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	48	2	0	0
【回答割合】「はい」が96%、「どちらともいえない」が4%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が0.1ポイント下降しています。 【自由意見】自由意見は特に寄せられませんでした。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	50	0	0	0
【回答割合】「はい」が100%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が2ポイント上昇しています。 【自由意見】だしからきちんととって調理されているところなど、いろいろと食についてもしっかりしていると思う、アレルギーがあるため献立のチェックを事前にさせてもらっているといった意見が出ています。また、アレルギー持ちのため一人孤立してしまうのが可哀想といった意見も出ています。				

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	2	1	1
【回答割合】「はい」が92%、「どちらともいえない」が4%、「いいえ」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が4.1ポイント下降しています。 【自由意見】散歩もよく行っていて、行事も先生たちが一生懸命取り組んでいる、いろいろな公園に連れて行ってくれる、戸外活動が充実しているといった意見が出ています。また、行事などはコロナ禍のためほとんどできていないといった意見も出ています。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	45	4	1	0
【回答割合】「はい」が90%、「どちらともいえない」が8%、「いいえ」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が1.8ポイント上昇しています。 【自由意見】電話一本で対応して頂いている、対応してくれて助かっている、急なスポット利用ですが快く受けてくれるといった意見が出ています。また、お迎えがぎりぎりになるときの対応についての意見も出ています。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	37	12	0	1
【回答割合】「はい」が74%、「どちらともいえない」が24%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が8.4ポイント下降しています。 【自由意見】コロナ禍においても安全面など配慮がとめて行き届いているといった意見が出ています。また、具体的にどのように対策されているかわからない、門の出入りは親や先生が十分に気をつける必要があると思うといった意見も出ています。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	37	11	0	2
【回答割合】「はい」が74%、「どちらともいえない」が22%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が14.2ポイント下降しています。 【自由意見】土曜開催の大きな行事はありがたいといった意見が出ています。また、コロナ禍で行事が中止されていて分からない、行事や引き取り訓練の時の保育について保護者に配慮ある対応をしてほしいといった意見も出ています。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	44	5	0	1
【回答割合】「はい」が88%、「どちらともいえない」が10%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が6.1ポイント下降しています。 【自由意見】担任の先生に良くして頂いている、送り迎えの時によく話を聞いてくれるといった意見が出ています。また、先生によって対応が違うといった意見も出ています。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	39	9	0	2
【回答割合】「はい」が78%、「どちらともいえない」が18%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が6.3ポイント下降しています。 【自由意見】入室していないためわからないが、庭やプール、ホールはきれい、消毒を徹底しているといった意見が出ています。また、遊具の汚れや、床やじゅうたんの古さを指摘する意見も出ています。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	43	6	1	0
【回答割合】「はい」が86%、「どちらともいえない」が12%、「いいえ」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が8.1ポイント下降しています。 【自由意見】言葉や態度の悪い先生はいないこと、とても話しやすく気を遣わないのでありがたいといった意見が出ています。また、見えるように名札を付けてほしいことや先生によって対応が異なるといった意見も出ています。				

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	45	4	1	0
【回答割合】「はい」が90%、「どちらともいえない」が8%、「いいえ」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が2.2ポイント下降しています。 【自由意見】 虫刺されなど些細な事でも報告してくれので安心していているといった意見や、まだそういう機会はないが安心して、薬対応後のサインにぬげがある、虫刺されを子どもとも確認してほしいといった意見も出ています。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	30	13	1	6
【回答割合】「はい」が60%、「どちらともいえない」が26%、「いいえ」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が16.5ポイント下降しています。 【自由意見】 そのような話はほとんど聞いたことが無い、0歳児クラスなのでまだトラブルが無いといった意見が出ています。また、子どもがけがをした際、職員からの内容と子どもからの聞き取りに食い違いがあるといった意見も出ています。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	46	3	0	1
【回答割合】「はい」が92%、「どちらともいえない」が6%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が4.1ポイント下降しています。 【自由意見】 そのような話を見ていると大切にしていると感じる意見が出ています。また、気持ちを大切にしているか心配になることもあるといった意見も出ています。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	44	4	0	2
【回答割合】「はい」が88%、「どちらともいえない」が8%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が7.6ポイント上昇しています。 【自由意見】 わからないといった意見が出ています。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	44	6	0	0
【回答割合】「はい」が88%、「どちらともいえない」が12%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が2.2ポイント下降しています。 【自由意見】 アプリで今日の様子をアップしてくれるのでわかりやすい、その日の様子が動画配信されるようになり少しわかるようになったといった意見が出ています。また、幼児クラスになり保育の状況がわかりにくいといった意見も出ています。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	44	5	1	0
【回答割合】「はい」が88%、「どちらともいえない」が10%、「いいえ」が2%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が7.6ポイント上昇しています。 【自由意見】 主任の先生が明るくいつも対応してくれるといった意見が出ています。また、不満はなかなか言えないや、コロナ禍で先生と接する機会が少ないといった意見も出ています。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	29	10	6	5
【回答割合】「はい」が58%、「どちらともいえない」が20%、「いいえ」が12%となりました。 【前回との比較】「はい」の回答割合が6.7ポイント下降しています。 【自由意見】 園のしおりで説明があったことや利用したことではないが相談できることは知っているといった意見が出ています。また、書面確認のみのため分かりやすい説明とはいえないといった意見も出ています。				



* グラフの各設問文は、アンケートに掲載されている質問原文です